

Bulletin

全国ケーブルトラフ協会

会報

2004年第5号

Contents

P1	第5回会報誌あたり
P1~2	豆知識 舗装と軌道
P3	会員Information
P4	詩
P5~6	広告

第5回会報誌あたり

特定非営利活動法人
全国ケーブルトラフ協会 理事長

田所 龍雄



日頃より当協会の運営にあたり、ご協力くださりまして誠にありがとうございます。第二回目の定期総会も平成16年4月9日無事に終了し、JIS規格改正も官報公示3月15日・規格書発行3月20日（定価6,300円）に印刷発売されました。特別価格で購入できそうなルートがありますので、技術委員会の方から後ほどご連絡します。なお大幅改正ですので、委員会開催時にはご連絡いたしますので、是非お繰り合わせください。ホームページも素案段階ですが公開されていますので、アクセスしてみてください。こちら委員会の方々がボリュームのある、ホーム

ページを作り上げていただけでしょう。

<http://www.npojcta.or.jp>（当協会ホームページアドレス）

E-mail:cabletragh@npjcta.or.jp（当協会専用Eメールアドレス）

また会報誌につきましても、宣伝広告を省きボリュームのある、中身の濃い情報を満載にしてお届けし続けるため、委員会の方々が協力し助け合って作り上げていきます。

どうぞ本年度もよろしくお願ひ申し上げます。

豆知識 舗装と軌道

■ 舗装

わが国の道路の舗装率は年々高まり、雨の日のぬかるみや日照りの砂ぼこりに悩まされることも少なくなりました。舗装は道路だけでなく、駐車場、空港の滑走路やエプロン（駐機場）、スポーツグラウンド、工場や流通センターの作業ヤード、港の荷役ヤードにも見られます。昔は土を石灰で固めたり、石畳を敷いたりして舗装していましたが、自動車交通や航空輸送の発展に伴い、舗装材料、舗装技術とも大いに発展しつつあります。

舗装は、その上を自動車や航空機などの輸送機器が走るため、繰り返し加えられる重さと衝撃に耐えなければなりません。また雨水や降雪、暑さや寒さにも耐え、ひび割れや路面が波うつような変形を起こさない工夫が必要です。

道路舗装にはアスファルト舗装が圧倒的に多く見られますが、高速自動車道路では重さや衝撃に強いコンクリート舗装が使われます。アスファルト舗装がしなやかなアスファルト混合物層でできているのに比べ、コンクリート舗装は硬いコンクリート板（スラブ）で作られており、路面を走る車両

の荷重を支え、分散させ、砂利や碎石で突き固められた路盤へと力を伝えます。

また、ジャンボジェット機が発着する空港では、その走行荷重は400トンにも達します。そのため空港の滑走路、誘導路、エプロン（駐機場）、ショルダー（路肩部）などは、主にコンクリートで舗装されます。

コンクリートは温度が低いと縮み、高いと伸びようとするので、ひび割れが生じたり、路面が盛り上がりたりします。そこで、一定の間隔で伸縮自在なゴムなどを埋め込んだ目地をつくり、伸び縮みを吸収します。コンクリート舗装には、鉄筋コンクリートだけでなく、走行荷重を分散させ、ひび割れを抑止する効果が大きいプレストレストコンクリートも用いられます。

■ 軌道

大量に人や物資を運ぶ陸上交通に、軌道（レール）が用いられます。鉄道やモノレールはもちろんのこと、新交通システムと呼ばれるガイドウェイ式の交通システムにいたるまで、軌道が使われています。

鉄道の軌道には、碎石（バラスト）の上に枕木を並べ、その上にレールを敷設してあります。この枕木には以前、木材が使われていましたが、現在では主にプレストレストコンクリートが使われます。

また、高架橋での列車による騒音や振動を抑え、保線作業の人手を減らすため、バラストから軌道スラブに置き換わりつつあります。ここにもコンクリートが使われています。

一方、懸垂式のモノレールではレールとして鋼桁が使われ、跨座式のモノレールのレールではプレストレストコンクリート桁が使われています。

また、新交通システムは、車両のゴムタイヤの案内状を側方あるいは中央でガイド（案内）するために、溝型の鉄筋コンクリート製のガイドウェイが使われています。

会員情報

◆新規加入賛助会員4社紹介

[平成16年2月]

(有)あげてつ

〒115-0045 東京都北区赤羽1-19-7 葵ビル502

担当者 中本雅司 TEL 03-3598-5712 FAX 03-3598-5714

[平成16年4月]

北関東TCM(株)

〒338-0812 埼玉県さいたま市桜区山久保1-8-15

担当者 新井知紀 TEL 048-855-8121 FAX 048-855-8126

(株)ハセガワ

〒824-0022 福岡県行橋市稲童3649-1

担当者 長谷川三喜 TEL 0930-23-1771 FAX 0930-23-1772

(有)カテナ工機

〒349-0114 埼玉県蓮田市馬込1887-3

担当者 山石淳一 TEL 048-768-1487 FAX

- ◆(株)東部通信 会長 高橋良之氏が平成16年4月6日逝去されました。
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

会員Information

ソニー生命保険株式会社 市村 行孝

このたびはNPO法人全国ケーブルトラフ協会会報誌に投稿させていただく機会をいただきまして誠にありがとうございます。申し遅れましたが、私は賛助会員であるソニー生命保険の市村行孝です。

日頃協会の皆様には大変お世話になり誠にありがとうございます。私自身いろいろな意味でこの協会を通じて勉強させていただいております。この協会の魅力は何と云っても業界初の特定非営利活動法人としての人格を取得できた事であり市民活動の一環として社会貢献できる場所を提供させていただいた事により今毎日人間として成長させていただいております。私もライフプランナーとして当協会の力になれるよう全力で頑張っていく次第であります。

私が生命保険の仕事をする上で心がけている事を皆様にお伝えできればと述べさせていただきます。



必要な力 KASH (Knowledge.Attitude.Skill.Habit)

私が常に修得すべき能力はKnowledge (知識)、Attitude (心の姿勢)、Skill (技術)、Habit (習慣)に分けられる。これは昭和30年代に米国のヒューブナー博士が整理したものである。

K. 知識 (Knowledge)

お客様のニーズをふまえてその方に最適な提案を行うためには、生命保険のみならず金融・税務・法務等のあらゆる知識が求められる。私はお客様のライフプランニングの為に、世の中の変化を敏感に捉え健全な幅広い知的好奇心を持って日々研鑽しなければならない。

「知識とは、大いなる安心の裏づけとなるものである。」

A. 心の姿勢 (Attitude)

生命保険の伝道者には全人格的な力が求められる。中でも取り分け、お客様の為を思う心、あるべき心の姿勢が私の力の源泉、根幹をなすものである。お客様から信用と信頼をいただくためには、お客様の利益に徹することが必要であることは言うまでもない。もちろん私はその使命を果たすためには永遠に存続しなければならない。お客様に質の高いサービスを提供し続けるものとして私の対価はお客様に貢献した結果お客様に評価されるものである。

「心の姿勢とは、私のすべての力の源泉である。」

S. 技術 (Skill)

お客様に貢献する為には提案を実行していただかなければならない。お客様に行動を起こしていただくためにはまずその内容を理解していただかなければならない。私には収集した情報を生かし解決策を導く能力や、それを効果的に伝える能力が必要である。心の姿勢に裏づけられないスキルは空虚である。

「技術とは、想いが形になったものである。」

H. 習慣 (Habit)

私は一人でも多くのお客様に貢献したいと思う。そのためには一人でも多くのお客様に会わなければならない。会う事がすべての始まりである。私は受身の姿勢ではなく主体的に行動する。お客様の為を思う心があれば、おのずと体は動くのである。しかしながら生命保険の募集には精神的に乗り越えなければならないハードルも、少なくはない。私にとって困難な状態はとるべき行動を習慣化することで解決されると信じています。習慣とは文字通り習って慣れる事である。繰り返し行うことで私にとって自然な状態になることである。

「習慣とは、行動が私の一部となることである。」



以上のKASHの法則を常に意識して活動しております。今後ともご指導ご鞭撻賜りますようよろしくお願い申し上げます。



オホーツク舟歌

森繁 久弥 作詞・作曲

1. オホーツクの海原 果てしなく凍てはて 命あるものは 暗い雪の下
春を待つ心 ペチカに燃やそ あわれ東に オーロラ悲し
2. 最果ての番屋に 命の灯チロチロ トドの鳴く夜は 愛し子が瞼に
誰に語らん この寂しさ ランプの火影に 海鳴りばかり
3. 鈴蘭の緑が 雪解けに光れば アイヌの歌声 谷間にこだます
シレトクの春は 潮路に明けて 舟人のかいな 海に輝く
4. オレーオレーオーシコイ 沖の声舟歌
秋アジだいエイリャンサ 掲げる網ヤ大漁
霞むクナシリ 我が故郷 いつの日か詣でん 御親の墓に
眠れ静かに

昭35年

【解説】「知床旅情」と同じメロディなのですが、コッチの方はあまり唄われていないようです。皆さん、是非、唄ってみてください。

昔、昭和の頃、リーダーズダイジェストという雑誌があり、世界的なベストセラー小説の要約や、話題、隠れたニュースなどを掲載していた。一風変わった視点をもつ編集が気に入って、甥っ子や姪っ子に、クリスマスプレゼントとしたこともある。

その雑誌社が発売したレコード集の中に、倍賞千恵子の唄うこの歌があった。4番は前半だけはテンポが早くなり、後半は遅くなる。その歌い方をモノにしようと思っているが、いまだに巧く唄えないでいる。

2番は、「オホーツク老人」という映画を彷彿させられ、森繁演じる薄幸な老人の心境を、見事に歌い上げている。宇登呂から、急病の妻を櫓に乗せ、羅臼の病院へ向かう途中、吹雪の知床峠で妻を喪う。一人息子は、新婚早々、オホーツクの海で遭難死してしまう。舟でしか行くことのできない、知床半島の僻地の番屋で、唯一人、網を護り越冬する。

鼠の被害を防ぐため、連れていった猫が、流氷に乗って流されるのを助けようとして、厳寒の海に落ち、死んで行く。厳しい自然との闘いの中で、精一杯生きた一人の男を描いている。原作は新田次郎であったと記憶している。

当協会は北海道から2社の会員参加を得ている。登別市の萩原コンクリート工業(株)さんと鶴川町の日東コンクリート工業(株)さんである。寒い地方でのトラフ作りは大変である。硬化の促進を図るための養生設備や燃料費、凍害に対処する技術、作業可能時期の問題、それに、広大な地域に供給するための運賃・・・コストを抑える工夫は並大抵ではない。それでも、「ポッポ屋」さん達の、文字通り、縁の下の力持ちを演じているのである。